

かわにし

議会だより

第164号

2026

1.15



川西町議会HP
QRコード

万事
うまい年に

犬川小4・5年生のしめ飾りづくり P15に関連記事

令和7年度政策提言 4

町長に問う 4人が一般質問 ... 6

いいね!かわにし 街かどインタビュー ... 14

あれからどうなった 第6次川西町総合計画 ... 15

発行／山形県川西町議会

編集／広聴広報常任委員会

印刷／有限会社 笹原印刷

〒999-0193 山形県東置賜郡川西町大字上小松977番地1 TEL0238 (42) 6674 HP <http://www.town.kawanishi.yamagata.jp>

新しいまちづくりにGO 第6次川西町総合計画可決

12月定例会のあらまし

12月定例会が、12月2日から12月12日までの11日間の会期で開催された。

第1日目に、川西町一般会計補正予算（第3号）の専決処分の承認について審議採決、条例3件、第6次川西町総合計画の策定について、川西町の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について、指定管理者の指定2件、令和7年度各会計補正予算5件を一括上程し、各常任委員会および予算特別委員会に付託、請願2件を常任委員会に付託した。

第2日目に、4人の議員が一般質問を行い、ふるさと納税、クマ被害対策、こども子育て支援金、財政などについて質問した。

第4日目以降、各常任委員会および予算特別委員会分科会を開催し、各議案を審査した。

最終日に、付託した条例3件、第6次川西町総合計画、各補正予算議案等を原案通り可決した。追加提案された川西町特別職の給与に関する条例、川西町一般職員の給与に関する条例、一般会計補正予算（第5号）他3件、国に対する意見書の提出、高橋輝行議員に対する辞職勧告決議をそれぞれ審議採決し閉会した。

なお、最終日の本会議中に、高橋輝行議員の不適切発言があり議場からの退去命令があった。

今定例会の傍聴者は5人だった。

ふるさと納税大幅増 職員給与、人勧に対応

川西町の将来の在り方を方向付ける第6次川西町総合計画が承認可決された。

一般会計補正予算（第3・4・5号）では、ふるさと納税の寄付額の大幅増による返礼品の増額（第3号）、各会計の額の実績確定に伴う返還金、各種システム改修、医療・介護給付の増加（第4号）、人事院勧告によ

ふるさとづくり 基金管理事業

ふるさとづくり寄付金（ふるさと納税）が10月までに大幅な増加となり、基金に積み立て、基金から返礼品に充てるものである。全国的なコメ不足による駆け込み需要に対応したものの。補正額は2億4698万円であり、これまでの最高額となる。

令和7年度一般会計補正予算

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計（第3号）	149億9256万円 3億7048万円を追加補正	全員賛成で可決
一般会計（第4号）	152億948万円 2億1691万円を追加補正	全員賛成で可決
一般会計（第5号）	152億5565万円 4617万円を追加補正	全員賛成で可決

一般会計補正予算の主な内容

補正予算（第3号）	ふるさとづくり寄付金	2億4698万円
補正予算（第4号）	人件費	1203万円
	除雪作業委託料等	5450万円
	町債償還金	1046万円
補正予算（第5号）	人件費	4542万円

お詫び
10月15日発の163号中P2での地方交付税は減額とありましたが増額のまちがいでした。訂正してお詫び申し上げます。

質 疑

問 各地区交流センターの職員の雇用の状況は

長補佐 各地区交流センターは令和8年度から5年間の指定管理となる。職員の雇用状況は、現在、単年度雇用契約でなく継続した雇用となっている。

問 定住移住促進事業の増額の理由は

住長 県外からの移住者の増加に対する支援金増額である。1世帯当たり20万円を支援する。継続して移住促進に取り組むように。

条 例

川西まちなかテラス条例

令和8年度から開設される川西町地域振興拠点施設「川西まちなかテラス」を公の施設として設置するもの。

名称

川西まちなかテラス愛称 まちりあ

用途

①地域づくりおよび人づくりに資する事業
②観光情報発信および観光交流の促進に関する事業
③賑わいに関する事業
使用料 各会場使用料は個別に定める。

賛成多数で可決 （反対1人）

川西町特別職の職員の給与に関する条例

国家公務員の給与改定に準じ、本町特別職（町長、副町長、教育長、議会議員）の期末手当を改正するもの。0・05カ月の引き上げとなる。

全員賛成により可決

川西町一般職の職員の給与に関する条例

国家公務員の給与改定に準じ、本町一般職員および再任用職員の給料月額、期末手当、勤勉手当等を改正する。改正の主な内容は、初任給および若年層に特に重点を置き、その他の職員にも大幅な引き上げ（全体平均3・3％）を行う。期末・勤勉手当は0・05カ月の引き上げとなる。

全員賛成により可決

12月定例会の議決状況

議会基本条例の規定により賛否の分かれたもののみ、各議員の議案に対する賛否状況を報告する。

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
議 員 名		船山 千鶴	鈴木 孝之	寒河江 寿樹	渡部 秀一	寒河江 司	吉村 徹	伊藤 進	神村 建二	橋本 欣一	高橋 輝行	欠 員	遠藤 明子	鈴木 幸廣
議63号	川西まちなかテラス条例の設定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○	
議67号	指定管理者の指定について（各地区交流センターほか）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○	
議68号	指定管理者の指定について（川西町フレンドリープラザほか）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○	

他の議案はすべて全員賛成でした。○は賛成、×は反対、－は欠席。議長は賛否に加わらない。上記以外は出席者全員賛成。

策言

10月28日、令和7年度の政策提言が鈴木議長から茂木町長に手交された。町民との意見交換会を集約のうえ各常任委員会での検討を経て、議会として政策提言をまとめた。

これに対し、町長から12月1日に回答があった。

1 提言

小学校施設の統廃合

- 1、小学校施設の統廃合を早急に進めること
- 2、空き校舎の活用および地域活性化を図ること

回答

小学校の統廃合については、住民代表による協議会の設置、諮問、協議、答申という手続きを踏まえ、決定までの公正さを担保するとともに、保護者アンケート、保護者懇談会、地区懇談会など、住民との対話によって合意を得ることで、住民意向に十分配慮しながら進める。

の活用、公募による民間での活用、除却等が考えられる。

これまでの空き校舎は、地域活性化、交流の拠点施設や福祉施設として活用を図っており、今後とも、地域交流の場や地域活性化などにつながる利活用について検討していく。



民間による空き校舎の有効利用 = 旧東沢小学校

2 提言

計画的な公共施設の管理と適正な財政運営

- 1、公共施設等総合管理計画の適正な執行に努めること
- 2、公共施設個別施設計画の見直し等を図ること

回答

公共施設等総合管理

計画は、人口減少や少子高齢化により社会構造が変化するため、今後も施設の利用状況やニーズ、老朽化の状況および将来の人口動向等を総合的に勘案しながら適切に管理し、財政負担の軽減と平準化に努めていく。

公共施設個別施設計画については、各公共施設の適正な維持管理に努め、想定外の修繕



長寿命化と耐震化に向けて改修中 = 川西中学校

等を回避するとともに、適切なメンテナンスとそれに係るコストの低減および財政負担の平準化を目的に毎年度定期的に見直している。

また、その結果は町ホームページで町民にお知らせしている。今後も適切な公共施設の施設運営および情報の提供に努めていく。

3 提言

将来の医療体制づくり

- 1、医療体制の充実を図ること
- 2、将来を見据えた公立置賜川西診療所の整備推進を図ること

回答

人口減少と高齢化が進む中で、地域の医療提供体制を持続可能なものとして維持、強化していくことは、極めて重要な課題と認識している。町では、新たな

に整備を進めている公立置賜川西診療所に「在宅医療連携拠点の機能」を持たせることにした。本町の医療、福祉、介護等の多職種連携を最大限に生かしながら、町民が安心して暮らし続けられるよう医療体制の充実を図っていく。

公立置賜川西診療所の整備については、令和7年9月に策定した「公立置賜川西診療所施設整備基本構想・基本計画」に基づき、整備実施主体である置賜広域病院企業団との連携により令和9年度末の完了を目指している。

整備事業費については、初期費用、運用、保守費用等を含めたトータルコストで評価し、経費圧縮に努め、持続可能な医療の提供を担保する診療所の整備を推進していく。

4 提言

子育て環境の充実

- 1、保育料の完全無償化に向け対応すること
- 2、幼児施設の今後の在り方を明確にすること

回答

3歳から5歳の子どもの保育料は全員無償、満3歳未満の第3階層および第4階層の保育料を県と町で折半することと全額無償化、第5階層の保育料を県と町で4分の1ずつ負担

し、半額にするなど無償化に向けた支援の拡充を段階的に実施している。

また、本町独自の施策としても、第2子以降を全階層所得制限なしで保育料の無償化にすることを段階的に実



より充実した子育て支援中 = 小松保育所

町内の民間施設に公立幼児施設の現状や課題を説明し、施設の代表者との意見交換を行い、その意見を取り入れながら公立幼児施設等の在り方検討委員会等で協議を継続しており、多様化する幼児教育、保育のニーズに対応する施設再編に向けて、具体的な方向性を引き続き検討していく。

ふるさと納税をクマ対策に使えないか

町長 一箱わなや獺友会支援に充てる

クマ対策にふるさと納税募集の考えは

寒河江 クマ対策に特化した、返礼品無しふるさと納税の寄付募集は。

町長 制度活用に向けて検討を進めている。寄付は、箱わなの購入費用や獺友会支援に充てる。

寒河江 ふるさと納税返礼品の新品目状

町長 返礼品は221品目あり、本町は米どころであり、米沢牛の主産地であることが、大きなメリットになっている。これらの返礼品のバリエーション

を増やすとともに、新たな返礼品事業者を募って、全体の取扱量を増やしている。また、体験型の商品やオンラインクーポンなどを追加している。

寒河江 寄付額増大を考えるうえで地域おこし協力隊を起用する考えはあるか。

町長 専門的な知識や技術を持った人材が必ずしも応募するとは限らないことから、現時点では考えていない。外部人材活用に関しては、総務省の地域活性化企業人制度に取り組んでいるところであり、本町での活用も選択肢の一つで視野に

入れている。

寒河江 クマ対策で緊急銃猟の発動は。

町長 市町村長の判断で銃猟が可能となったが、実施には日常生活の用に供する場所であること、人の生命身体に被害防止措置を緊急に講ずる必要があること、銃猟以外の方法しか捕獲ができないこと、弾丸で人の生命財産に危害を及ぼさないことを考慮し、発動しなければならぬが、いまだ発動はしていない。

寒河江 狩猟免許をもつ自治体職員を養成は考えているか。

寒河江司 議員



ふるさと納税返礼品

町長 銃刀法が関係してくるので、リスクと責任が個人にかかることとなり、慎重に検討して判断する必要がある。

寒河江 柿等の不要果樹伐採の支援は。

町長 県による野生鳥獣市街地等出没対策事業費補助金の追加要望調査があり、追

加要望を行った。

寒河江 獺友会への増額支援を考えているか。

町長 クマの出没の増加により獺友会の協力依頼が増加し負担をかけている。各種手当については、国、県、近隣自治体の状況を鑑み検討する。

町政を問う



4人の議員がするどく一般質問

定例会第2日目に一般質問が行われ、4人の議員が町政について質問しました。発言順に掲載します。

P7	寒河江 司 議員	① ふるさと納税 ② クマ対策
P8	吉村 徹 議員	① クマ被害対策 ② 地域計画 ③ 物価高騰対策
P9	橋本 欣一 議員	① 「こども・子育て支援金」制度 ② 企業誘致
P10	高橋 輝行 議員	① 破壊活動防止法 ② 官僚のタイプ ③ 財政

一般質問は、議会ホームページの録画中継によって見るができます。(https://www.town.kawanishi.yamagata.jp)

①抜きの数字は掲載された質問。それ以外は誌面の都合により掲載できなかったもの。

まちの未来が見える(12月定例会の傍聴者は5人)
議会傍聴においでください
次回定例会は3月です

どなたでも傍聴できます
(事前連絡は不要です
役場3階においでください)

定例会本会議、予算特別委員会はNCV、インターネットで生中継。議会フェイスブックもご覧ください。



川西町議会FB
QRコード



川西町議会HP
QRコード

一般質問

クマ対策

*ガバメントハンター育成は

町長―銃を扱うため慎重に検討する



吉村 徹 議員

吉村 国、県によるクマ被害対策パッケージを受けての対策は。

町長 山形県より被害対策パッケージに対して、令和7年度野生鳥獣市街地等出沒対策事業費補助金の追加要望調査があり、不要果樹伐採補助、クマ捕獲に係る必要備品などの整備について追加要望を行っている。

吉村 「緊急銃猟」での被害対策はどのように取り組まれるか。

町長 現在のところ緊急銃猟の条件を満たす事案は発生していないが、緊急銃猟の実施については、町民の安全を第一に、条件を満たした場合に、警察、県、猟友会などの関係機関、団体と協力しながら適切に判断していく。

吉村 駆除の担い手となる専門対策員（ガバメントハンター）の育成は。

町長 狩猟免許を持つ自治体職員を養成するとなれば、当該職員の理解を得て、猟友会の協力を得ながら業務としての猟の習熟が必要となる。また、銃刀法が関係し、銃を扱うことによるリスクと責任が掛かることとなり、その判断に当たっては慎重に検討する必要がある。

吉村 教育現場におけるクマ対策について、児童生徒の通学時における安全対策は。

町長 各学校の対応として、状況に応じて、教職員による巡回、家庭への見守りや送迎の依頼、スクーリングガード、町当局へのパトロールなどの依頼をしている。

吉村 スクールバス送迎における乗降場所から、自宅までの対応はどうしている。

町長 保護者の皆様に送迎をお願いしている。

吉村 年末に向けた物価高騰対策は。

町長 国の補正予算成立後、速やかに対応できるよう準備を進め、町民の暮らしを守るように努めていく。

*ガバメントハンター＝狩猟免許を持つ公務員のこと
深刻化する鳥獣被害（特にクマ被害）対策として、自治体が専門人材として雇用する動きが加速している



箱わな設置

子育て

こども支援金負担額は

町長 ― 国保加入者で月300円程度である

橋本 令和8年度から始まる子ども子育て支援金が各保険負担金に上乗せして徴収される。新たに負担が増えるが金額は。

町長 国の試算によると、国保加入者はそれぞれ月額、8年度で250円、9年度300円、10年度400円である。後期高齢者医療ではそれぞれ月額、8年度200円、9年度250円、10年度350円である。それぞれ、保険料と共に徴収する。

橋本 少子化が進む中で、子育て支援はどのような制度になるのか。

町長 町民の皆様には、事前に案内がある。国保と後期高齢者医療保険の支援金の周知は1月下旬に送付の中に案内を入れる。また町

町長 児童手当の拡充、妊娠・出産時に10万円の経済支援、出生後休業支援給付、育児時短就業給付、こども誰でも通園制度、育児期間中の国民年金保険料免除措置の6つの給付施策となる。

橋本 この制度はまだまだ町民に知られていない。負担が増えるのでいち早く制度を知らせる必要があると思うが、周知は。

町長 町民の皆様には、事前に案内がある。国保と後期高齢者医療保険の支援金の周知は1月下旬に送付の中に案内を入れる。また町

ホームページでも知らせる。

企業誘致の状況は

橋本 本町の企業誘致はなかなか進まないが状況は。

町長 尾長島工業団地の未創業地への誘致を中心に進めている。企業側では人材不足が懸念され、誘致企業に限らず、町内企業でも課題となっており、高校生に対して、町内企業の魅力を紹介しピアーアルに努めている。一方、近隣市町では産業団地の造成計画などがあり、競合し誘致の停滞も懸念される。誘致を進めながらもベッ

ドタウンの方向性も考えられる。

橋本 コロニーの移設計画もあり、医療と福祉、介護の拠点としてメディカルタウン内にコロニーを誘致できないか。

町長 メディカルタウンの未開発地は計画に沿って進めたい。コロニー用地については町有地を候補地に検討を進め、近日中に選定の予定である。



未来にはたくさん子どもたちのために ＝ 小松保育所

一般質問



高橋輝行 議員

財政

健全なる財政運営は

町長―借入金残高を少なくしていく

高橋 破壊活動防止法について、この法律に基づく調査対象団体をご存知か。

町長 この法律に基づく調査対象団体について、いくつかの団体名が挙げられていることは承知している。

高橋 調査対象団体は、日本共産党、朝鮮総連、全学連、大本愛国党とされている。官僚のタイプには4タイプがあるという。国土型、調整型、吏員型、下請け型。茂木町長は、どのタイプが好きか。

町長 どのタイプが好きかということではなく、住民の福祉の向上に努める職員であってほしい。

高橋 比率は県内ワースト2位であった。この結果についてどのように捉えているか。

町長 本町では、これまで公共施設の整備や学校の耐震化など、投資的経費の財源として町債を多く活用してきた。特に近年は、役場庁舎建設や旧庁舎・中央公民館の解体、町民総合体育館の耐震化など、立て続けに大型事業があり、借入金

の残高が伸びてきた状態にある。「実質公債費比率」「将来負担比率」共に町債の残高や単年度当たりの償還額が大きく影響するので、借入金の残高が伸びたことによって、数値も上がってきた結果と捉えている。

町長 議員指摘のとおり、この二つの数値を下げていくためには、借入残高を少なくしていく必要がある。繰上償還を行い、借入

残高を下げることによって「将来負担比率」を下げることで、毎年の返済額より借入額を少なくすることによって借入残高が減少し、将来の「実質負担比率」の低減につながるものと考えている。



耐震化と長寿命化対策中＝川西中学校

全員協議会

12月10日
全員協議会

国の補正予算に対する取り組みについて

国の補正予算成立後、早急に行うことができる体制の準備の説明があった。

コロナ希望が丘
移転候補地選定

令和11年開所予定のコロナ希望が丘の移転候補地が公表された。町有地の中で災害リスクの少ない候補地を条件に選定された。候補地
川西町大字西大塚1768-13番地他（旧町立大塚幼稚園跡地）

意見書

安全・安心の医療・

介護提供体制を守るため、すべてのケア労働者の処遇改善につなげる報酬10%以上の引き上げを求める意見書

陳情者 山形県医療労働組合連合会執行委員

長 鶴巻 学

趣旨 医療機関や介護現場で働くすべてのケア労働者の賃上げと人員配置増、それによる医療・介護提供体制の維持が図られるよう、令和8年度の診療報酬改定と期中での介護報酬・障害サービス等報酬の改定を実施し、それぞれ10%以上の引き上げを行うこと。

提出先 内閣総理大臣
厚生労働大臣ほか

全員賛成により可決

請願

請願名

ツキノワグマ対策に関する請願

請願者

川西町大字玉庭346

5-2 佐藤 準一

紹介議員

渡部秀一、寒河江司

趣旨 クマ出没が多発し、本町でも人身被害が発生している。町民の安全安心を確保するため次のように請願する。

1、クマの出没が確認された時点で、速やかに町民に注意喚起の周知を徹底すること。

2、猟友会への支援を拡充すること。

全員賛成により採択

辞職勧告

空き家バンク仲介の手付金不正受領に関し、いまだに説明責任が果たされていない。このことは川西町政治倫理に関する決議に反するものである。さらに、議会の品位と規律を損なう行為が繰り返された。

川西町議会に対する町民の信頼を著しく失墜させた社会的、道義的責任は重大である。よって、議員辞職を改めて勧告するものである。

提出者 橋本欣一
賛成者 伊藤 進
鈴木孝之 神村建二
吉村 徹 寒河江寿樹
船山千鶴

全員賛成により可決

広報モニターから ひとこと③

大塚 長谷川輝一 さん



人口減少対策を

人口減少への課題と対策について、議員の取り組みはどうなっているのか。

1、人口減少の要因についての調査や分析を行っているのか。

2、人口減少による自治体が抱える課題と人口減少が進むとどのよう

うな影響を及ぼすのか。

3、人口減少による税収減を抑え、必要最低限の行政サービスを維持できるように、対策を講じる必要がある。

内閣府で行っている地方創生のための支援策を活用するなど、人口減少を克服するために、有効な対策をとらなければならない。

政策分野では

1、地方における安定した雇用の創出。

2、地方への新しい人の流れをつくる。

3、若い世代の結婚・出産・子育ての希望実現。

4、時代に合った地域、安心な暮らし、地域と地域の連携。

人口減少に伴っての議員定数見直しなども、現在の川西町において、必要不可欠ではないでしょうか？

議員の皆さんの力を発揮いただき、町発展に尽力いただきたいと思います。

三重県名張市
奈良県下市町

人口減少に伴う住環境整備と住民参加型予算

総務文教常任委員会

令和7年11月10日、
12日、三重県名張市と
奈良県下市町の人口減
少に伴う住環境の整備
と住民参加型予算に関
する取り組みの先進地
調査を行った。

三重県名張市

名張市は三重県西部、
伊賀地方に位置し、人
口約7万2千人で、宿
場町の歴史を持つてい
る。名張市の地域づく
りは「住民主体・行政

支援」を軸に、全国的
にも先進的な制度を築
いてきたのが特徴であ
る。特に「ゆめづくり
地域交付金」や「自治
基本条例」によって、
地域が自ら決め、行政
が伴走する仕組みを整
えてきた。区長制度を
廃止、15ある小学校区
ごとに地域づくり組織
に整理し、個性ある将
来のまちづくりの将来
像を定め、各地域で活
動を行っていることに



伴走型行政支援仕組みづくりを研修

より、行政頼みからの
脱却が進行しているよ
うに感じた。
一方、それぞれの地
域間での財政力、人材
力の差による事業格差、
持続可能性の確保、住
民参加の継続性などが
課題として挙げられて
いた。これらの運営方
法を参考にし地域づく
りについて調査すべき
であると感じた。

奈良県下市町

下市町は奈良県の南
半分を占める広大な吉
野郡の北西に位置し、
特に学校統廃合後の空
き校舎の活用につい
て研修を行った。
KITO FORE
ST MARKET
SHIMOICHI
(旧下市南小学校)は



民間事業者により複合型体験型施設として開業

町、民間事業者が連携
して再生し、2024
年7月に複合型体験型
商業施設を開業し、地
元食材や特産品を扱う
ショップなど多様な施
設として観光客と住民
交流を両立する施設と
なっていた。

「峠のまなび舎」(旧
広橋小学校)は、地元
住民が「学び舎」を再
生し、2010年代か
ら法人化して、歴史を

継承し、自然・文化・
人をつなぐ拠点となっ
ている。

両者とも、単なる施
設利用にとどまらず、
多様な機能を備えてお
り、利用者の満足度を
得られる施設運営であ
った。今回は施設見学
が中心となったが、設
立のノウハウや運営方
法まで検証し、今後の
本町での廃校活用を生
かしていきたい。

鳥取県北栄町
鳥取県倉吉市

地域おこし協力隊 子育て支援策

産業厚生常任委員会

令和7年11月11日、
13日、鳥取県北栄町の
地域おこし協力隊と倉
吉市の子育て支援の取
り組みについて先進地
調査を行った。

鳥取県北栄町

北栄町は、平成17年
10月に旧北条町と旧大
栄町の合併により誕生
した人口1万4千人の
町で、鳥取県の真ん
中・東西に位置し、農



新たな地域おこし協力隊募集の取り組みの研修

業が盛んな町である。
人口減少の影響を受
け、農業就業人口の減
少により高齢化、担い
手不足が大きな課題と
なり、平成26年度から
地域おこし協力隊を活
用し、移住・定住・新
たな担い手の確保を目
的として導入していた。
退任後も北栄町に新規
就農者・別事業への就
労となって、定住率
43・3%と高く本町と

比較しても高い定住率
となっている。
新たな取り組みとし
て、今年度より農業生
産組織が主体的に募集
を行い、共創型の地域
おこし協力隊の活用や
商工振興の一助として
商工会が主体となり地
域おこし協力隊の募集
の取り組みが行われて
いた。本町の定住率向
上等を考え、地域おこ
し協力隊の活用に取り
組んでいきたい。

鳥取県倉吉市

倉吉市は、鳥取県の
ほぼ中央に位置し、市
域は県中部4町のすべ
とと接し、南西部は果
菜類・野菜類の産地で
あり、東南部は温泉と
城跡とともに一帯が県
立公園となっている。



少子化における支援体制の研修

市では令和7年4月に
「子育て支援局」を新
設し、「こども支援課」
と「こども家庭センタ
ー」のサポート体制が
より強化されていた。
全国的な少子化による
人口減少問題は、倉吉
市においても大きな課
題となっていた。

少子化の影響により、
保育所および学校の再
編や統廃合を行わない
とやりくりができない
状況下であり、小児科

医の高齢化、減少傾向
化による医師・スタッ
フの確保、同様に保育
士、児童厚生員の確保
も厳しくなっている。
子育て支援サービスの
提供については、本町
でも同様に少子化問題
を抱えているが、保育
所および学校の再編は
喫緊の課題と捉えて、
参考になる部分は検討
し、より良いサビスの
提供に活用していき
たい。

次は街かどインタビュー

あれから…… どうなった！



「緑と愛と丘のあるまち」をまちづくりの基本理念とし、新たなまちづくりとして令和8年度から始まる第6次川西町総合計画が策定された。

各分野の個別計画や施策を策定する際の基本となるもので、平成16年に施行された「まちづくり基本条例」では、「議会の議決を求める。」とされており、全員賛成で可決された。

《基本構想》令和8年度（2026年度）から令和17年度（2035年度）までの10カ年計画。

《基本計画》令和8年度（2026年度）から令和12年度（2030年度）までの5カ年計画。

0年度）までの5カ年にわたる前期基本計画。進捗や社会情勢の変化を踏まえ、後期基本計画を改めて策定する。

《実施計画》基本計画を実行していくための具体的な事業計画を示すもの。その時々々の行政需要を勘案し、3カ年を期間とした実施計画を別に策定。毎年度、ローリング方式により見直しを図り、効果的な進捗管理と事業推進を行う。

《重点目標》若者や女性、多様な人々が活躍するまちをつくりまします。

《基本目標1》（生活環境分野）安心して住み続けられるまちをつくりまします。



多彩な人々が利活用＝完成間近「まちなかテラス」

「共に感じ、共に創り、共に生きる」

《基本目標2》（産業分野）挑戦を支え、産業が発展し、稼げるまちをつくりまします。

《基本目標3》（保健・医療・福祉分野）共に支えあい、健康に暮らせるまちをつくりまします。

《基本目標4》（子育て・教育・文化・スポーツ分野）夢を育み、心豊かに、学べるまちをつくりまします。

《基本目標5》（人づくり、地域づくり分野）人を育て、未来につなげるまちをつくりまします。

いいね！かわにし 街かどインタビュー

12月11日(木) しめ飾り体験学習(JA犬川) 21日(日)置賜農業高校演劇公演(フレンドリープラザ)にてインタビューしました。

青木 忠和さん(犬川)
地元犬川小学校の4・5年生がしめ飾りづくりの体験学習に来てくれました。会員のみなさんは子どもたちから元気を貰い、和気あいあいのひと時でした。「いっぶく」と「だちん」の方言でおもてなしをしました。



須藤 仁さん(犬川小学校長)
5年生(7人)・4年生(7人)で、春夏秋冬を通じて稲作を学ぶ総合学習です。児童たちが実際に田植、観察、稲刈、脱穀による稲作の過程を知り、今日はワラで縄を編み、しめ飾りづくりを地域の人から学ぶ貴重な体験でした。



島貫 オフデさん(犬川)
楽しく活動していますが、作業よりお茶飲みが多いです。夏場は家の仕事で参加できないため、冬の楽しみにしています。ワラ仕事は得意ではないけれど、おしゃべりすることが元気の秘訣です。



中野 茂三さん(犬川)
わら細工会は、現在男性26人、女性2人で、70歳代後半から90歳の高齢者の集まりです。わらじ、みの、こも、しめ縄、門松など、わら細工はさまざまです。文化伝承として古き良き伝統は後世に残していきたいものです。



五十嵐 琉海さん(川西三年生) 安部 そらのさん
二人で勉強をしてきました。部活動ではホッケーをしていて、進学しても続けていきたいです。(琉海さん) もうすぐ卒業となるので、勉強も一生懸命ですが、友達と思いい出をたくさん作りたいです。(そらのさん)



渡部 明子さん(吉島)
息子が演劇に出演するので応援に来ました。地区大会や県大会に出場し、頑張っている姿に感動しています。部員が少ないのが課題ですが、仲間づくりにも取り組んでいます。



川野 陸さん(山形市)
フレンドリープラザ内にあるピアノを30分の時間制限で自由に弾くことができるというので、来てみました。現在は大学2年生。来年から研究が始まるので忙しくなる年。ピアノは趣味で気分転換になります。



松本 遥空さん(3年) 辻 蒼馬さん(2年) 田畠 零さん(3年)
大きな舞台での演劇は今日が最後、楽しくやれました。(遥空さん)先輩との活動が終わるのが名残惜しいですが、今後の活動にプレッシャーを感じています。(蒼馬さん)やり遂げた実感が清々しい気分です。(零さん)



表紙の写真

万事のまい年に

犬川小学校の総合学習で、米づくりについて田植から稲刈、脱穀までの過程を知る学習を行っています。

日常的にワラを使うことは無くなってきているが、ワラを生活の中で利用していたことを知ること、地域を知る重要な学習につながると思います。

今回はワラで縄を編み、しめ飾りづくりを、地域のわら細工会の方々と学び、貴重な体験になった。出来あがったしめ飾りは玄関に飾られ福と果報をもたらしてくれるに違いない。

ご意見は議会活動に生かしていきます。

みんなの心が満たされる 住みよい町に

◇プロフィール◇

えんどう ゆかり
遠藤友香里さん

川西町大字上小松
家族は、夫と子ども2人、
義父母の6人家族
山形市出身
趣味 カメラ、旅行

小松地区にお住いの
遠藤友香里さんに川西
町についてお話を聞
きました。

一人の出会いが

仙台市内で美容師や
ブライダルプランナー
などの仕事に従事して
いた頃、共通の友達を
通じて知り合いました。
連絡先を交換して、お
互いに話が盛り上がり
たのがきっかけです。
私の実母と主人の母
親が同級生だったこと
もご縁を感じました。

川西町に来て

知り合いもいない初
めの土地に来てから
13年目になります。
町の印象は、のんび
りのどかな雰囲気と、
自然豊かな落ち着いた
ある所だと思っています。
長女（小4）と二女（年
長児）の子育て真っ最
中です。家から小学校



初春や健やか吾子の笑顔かな

子育てで思うことは

と保育園のどちらも近
いのでとても便利です。
仕事面では、米沢市
内の金融関係に勤務し
ていて、新しい道路が
できたおかげで通勤時
間が短縮し非常に助か
っています。

義父母と同居してい
るので、子どもたちの
面倒や家事等、さまざ
まな面で手伝ってくれ
るので、安心して仕事
をすることができます。

町に対し要望があれば お聞かせください

近所に公園がほしい
です。

また、町中に空き家
が目立っていますし、
人口減少が加速する今
後、いつか我が子たち
も大学や就職で県外に
出て行ったとしても、
戻りたいと思えるよう
な、心が満たされる町
にしてほしいです。

いただいた要望は町
に提言していきます。

編集のあとで

▼新年あけましておめ
でとうございます。

「丙午年」の今年にあ
やかたて、「何事もウ
マくい」飛躍する明
るい年になるよう願う
とともに、みなさん
のご多幸を祈念します▼
限られた時間で取材や
記事の作成、写真撮り
等、編集作業は産みの
苦しみの連続です▼こ
れからも町民のみなさ
んに愛読していただい
けるよう努めて参りま
す。

（明子）

発行責任者 鈴木 幸廣

委員長 橋本 欣一

副委員長 鈴木 孝之

委員 伊藤 進

同 遠藤 明子

同 寒河江 寿樹

同 船山 千鶴

アドバイザー（文章）

佐々木 賢一

鈴木 浩之

アドバイザー（写真）

山田 順一

齋藤 文夫